

グリップ挿入方法

グリップの挿入方法は多岐にわたりますが、代表的な方法は、熱、注油剤、空気圧、接着剤のいずれかが良いでしょう。



熱

ヒート・ランプ、ヒート・ガン、温熱機(オープンなど)、熱湯などにさらしてください。60 度から 80 度程で材質が柔らかくなり、挿入がしやすくなります。ひとたび熱が下がればグリップは元の硬さ、形状に戻ります。

注油剤

注油剤の利用はきわめて効率の良い挿入方法です。石鹼水を右のようにグリップ内部にスプレーするか、グリップの内側を石鹼水に漬けてしまうのが効果的です。石鹼水は温水が良いでしょう。なお石鹼は、乾燥後には接着剤の役目をします。



空気

空気圧の利用は長めの発泡グリップの取付けには効果的です。発泡グリップは空気圧で十分に膨張しますので、片側を密閉させた状態で空気圧を加えると、別の片側近くが広がり全体をスライドさせて挿入しやすくなります。



接着剤

グリップと握り部の接面具合にかかわらず、グリップを完璧にずれなくするには、接着剤の使用しかありません。加えて、接着剤は注油剤としての働きもします。グリップ及び握り部分の材質との組み合わせがありますので、選定につきましては接着剤メーカーへお問合せ下さい。

【参考】 ヘンケルジャパン株式会社 LOCTITE 事業部(ロックタイト)代理店
東京新資材株式会社
〒101-0047 東京都千代田区内神田 2 丁目 2 番 5 号 光正ビル 8 階
TEL 03-5256-0601 FAX 03-5256-0604 URL <http://www.tokyoshinshizai.jp/>